

注 意 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察注意報第2号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病害虫発生予察注意報第2号

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 発生地域 県全体
- 4 発生時期 10月中旬～
- 5 発生程度 多い
- 6 注意報発令の根拠
 - (1) 10月2半旬調査の結果、寄生株率は5.2%（平年：0.2%、前年：0%）で、発生ほ場率は25.9%（前年：0%）であった。10月5半旬調査の結果では、寄生株率は5.0%（平年：0.5%、前年：0%）で、発生ほ場率は37.0%（前年：0%）であった。一部ほ場で多発している。
 - (2) ハダニ類の発生は定植直後から認められ、ビニル被覆後の10月中旬頃から増加した。
厳寒期は増加が緩慢となるが、2月下旬頃から再び密度が上昇することが予想される。なお、気温が高いと早まるおそれがある。
 - (3) 今後1か月の気象予報では、11月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。
- 7 防除上注意すべき事項
 - (1) 多発生後の防除は困難となるので、早期発見、早期防除に努める。
 - (2) イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺作物の薬剤防除や除草を行う。
 - (3) 寄生株の葉かぎ後の複葉や抜き取った雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。
 - (4) ハダニは抵抗性がつきやすいので、同一系統薬剤の連用は避ける。
 - (5) 薬剤防除については、使用基準を守り、危被害防止に努める。